

学校での突然死ゼロを目指して

～ 小学校からの教諭による救命教育の推進 ～

【趣旨】 学校における児童生徒死亡事故の死因の第一位は「突然死」である。

文部科学省は「学校事故対応に関する指針（平成28年3月）」を作成、心肺蘇生やAEDの積極的活用など学校の危機対応能力の向上を呼び掛けた。また、令和3・4年度から実施している中・高等学校の新学習指導要領では、生徒が胸骨圧迫やAEDの使用など一次救命処置を身に付けることができるよう実習を通して指導することとした。

さいたま市では、平成23年9月駅伝練習中に突然倒れ亡くなった桐田明日香さんの事故を踏まえ「体育活動時等における事故対応テキスト～ASUKAモデル～」を作成、小学校からの一貫した救命教育を推進している。このように小学校から取り組む自治体は全国に広がっており、児童生徒の活躍で家族や市民の命が救われる事例が増えている。

フォーラム第1部では、教諭による救命教育（心肺蘇生やAEDの活用）の公開授業を行い、第2部では医師等医療・救急関係者、学校や教育委員会、文部科学省等教育関係者、保護者などによるシンポジウムを通じて、「学校での突然死ゼロ」を目指す取り組みを探求する。

2024年2月2日(金) 13:00～16:00

水戸市立笠原小学校

茨城県水戸市笠原町347-17

- ※ 電車をご利用の方：水戸駅南口または赤塚駅南口よりバスで県庁バスターミナルまでお越しくください。
- ※ お車をご利用の方：茨城教育会館の駐車場をご利用ください(駐車料金：300円)
- ※ バス停、及び駐車証から会場まで徒歩12分です。



参加無料

事前申込 要

主催 日本AED財団、水戸市教育委員会

共催 日本臨床救急医学会、茨城県教育委員会、茨城大学 教育学部

後援 文部科学省、厚生労働省、総務省消防庁、日本医師会、日本赤十字社、全国学校安全教育研究会、(予定) 日本学校保健会、公益財団法人 日本心臓財団、茨城県学校保健会、水戸市、茨城新聞社、NHK 水戸放送局、NPO法人 いばらき救命教育・AEDプロジェクト

協賛 茨城トヨペット株式会社

※ 参加される方は、マスクをご持参ください。



- ※ フォーラムではメディアによる写真及び動画の撮影が行われる予定です。その際、ご来場の皆様様が映り込む可能性がございます。予めご了承ください。
- ※ 会場内での録音・録画・写真撮影はご遠慮ください。



公益財団法人 日本AED財団

<http://aed-zaidan.jp/>

プログラム

13:00 Schoolフォーラム 開始 (12:30 受付開始)

第1部 13:15~14:00

救命教育の公開授業

水戸市立笠原小学校 4年2組

授業者:教諭 谷平 早妃

第2部 14:20~16:00

挨拶 水戸市長 高橋 靖

シンポジウム

座長 立川 法正

豊後荘病院、日本AED財団 減らせ突然死プロジェクト実行委員

「命を守る教育の実践」

水戸市立笠原小学校 教諭 谷平 早妃 他3名

「水戸市における救命教育について」

水戸市総合教育研究所 指導主事 小林 潤平

「子どもたちの命を守るために～ASUKAモデルへの思い～」

ASUKAモデル関係者・桐田明日香さんのお母様 桐田 寿子

「ASUKAモデルから見る救命教育の現状と課題」

日本AED財団 理事、元さいたま市教育長 桐淵 博

「茨城大学 教育学部における学生への救命教育」

茨城大学 教育学部 保健体育選修 教授 上地 勝

「子供の命を守るこれからの学校安全」

文部科学省総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課
安全教育調査官 木下 史子

「DX教材を活用した新しい救命教育」

日本AED財団 減らせ突然死プロジェクト実行委員 千田 いずみ

挨拶 水戸市教育委員会 教育長 志田 晴美

申し込み方法

右記QRコード、及び下記URLにある申込みフォームより、お申込をお願い致します。

申込みフォームQRコード



申込みフォームURL:<https://x.gd/TJeqD>

申込み締切:2024年1月26日(定員 200名)

※ 定員になり次第締め切りとさせていただきます。

